

水 道 課

平成 30 年 9 月 30 日現在における平成 30 年度水道事業の財務に関する事務の執行状況並びに経営状況について定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

1 職員の配置状況

当課の職員は課長 1 人、管理係 3 人、工務係 4 人の計 8 人で、伊佐市職員定数条例の定数より 4 人減である。このほか管理係に臨時職員 3 人を配置している。

2 財務に関する事務執行状況

(1) 収益的収入及び支出

当期の収益的収入は予算現額 3 億 9,429 万 2,000 円に対し、調定額 1 億 6,693 万 6,978 円、収入済額 1 億 3,188 万 5,282 円で、予算に対する収入済額の割合は 33.4%、調定額に対する収入済額の割合は 79.0%になっている。

収入済額の内訳は、給水収益 1 億 3,115 万 7,582 円、その他営業収益 56 万 3,000 円、営業外収益 16 万 4,700 円となっている。

なお、未収金は営業収益 3,452 万 2,806 円である。

一方、収益的支出は予算現額 3 億 5,725 万 5,000 円に対し、支出済額 6,062 万 8,415 円で 17.0%の執行率である。

支出済額の営業費用の内訳は原水及び浄水費 1,432 万 6,121 円、配水及び給水費 1,314 万 7,269 円、総係費 1,985 万 4,517 円であり、営業外費用は支払利息及び企業債取扱諸費 1,330 万 508 円である。

(2) 資本的収入及び支出

当期の資本的収入は、予算現額 8,160 万円に対し調定額、収入額ともに 0 円である。

一方、資本的支出は予算現額 2 億 4,828 万 4,000 円に対し、支出済額 7,218 万 6,898 円で、執行率は 29.1%である。

支出済額の内訳は、建設改良費 713 万 3,952 円、企業債償還金 6,505 万 2,946 円である。

なお、当期において資本的収入額が資本的支出額（支出済額）に対し不足する額 7,218 万 6,898 円は、減債積立金 2,500 万円と過年度分損益勘定留保資金 4,696 万 8,497 円及び当年度分消費税資本的収支調整額 21 万 8,401 円で補填されている。

(3) 損益計算書（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

（単位：円）

1 営業収益	155,628,070	
2 営業費用	<u>136,797,251</u>	
営業利益		18,830,819
3 営業外収益	36,360,969	
4 営業外費用	<u>13,300,508</u>	<u>23,060,461</u>
経常利益		41,891,280
当期純利益		41,891,280
前年度繰越利益剰余金		<u>162,655</u>
当期末処理分利益剰余金		<u>42,053,935</u>

4月～9月の収入として、一般会計負担金（営業収益・その他営業収益）163万6,000円と一般会計負担金（営業外収益）320万1,000円、長期前受金戻入（営業外収益）1,686万6,500円、資本費繰入収益（営業外収益）1,560万円を計上し、支出として、水質検査委託料（原浄費）264万4,500円、水道施設監視ネットワーク・電気設備保守保安管理業務委託料（原浄費）175万円、9月分動力費（原浄費）197万4,701円、退手組合負担金（総係費）207万5,000円、地方公営企業会計に係る指導・助言業務委託（総係費）20万円、減価償却費の半年分の7,974万3,500円を計上している。

(4) 貸借対照表（平成30年9月30日） (単位：円)

資 産 の 部		
1	有形固定資産	3,496,222,507
2	無形固定資産	125,000
3	投資その他の資産	<u>39,991,000</u>
	固定資産合計	3,536,338,507
1	現金預金	465,538,062
2	未収金	58,102,918
3	貯蔵品	2,360,484
4	前払金	2,770,400
5	その他流動資産	<u>2,582,551</u>
	流動資産合計	<u>531,354,415</u>
	資 産 合 計	<u>4,067,692,922</u>
負 債 の 部		
1	企業債	1,088,067,861
2	引当金	<u>34,716,275</u>
	固定負債合計	1,122,784,136
1	企業債	65,816,047
2	未払金	8,644,201
3	その他流動負債	<u>13,924,841</u>
	流動負債合計	88,385,089
1	長期前受金	1,376,812,941
2	長期前受金収益化累計額	<u>△ 742,527,212</u>
	繰延収益	<u>634,285,729</u>
	負 債 合 計	1,845,454,954

資 本 の 部

1 自己資本金	<u>2,017,555,273</u>	
資本金合計		2,017,555,273
1 資本剰余金	2,628,760	
2 利益剰余金	<u>202,053,935</u>	
剰余金合計		<u>204,682,695</u>
資本合計		<u>2,222,237,968</u>
負債資本合計		<u>4,067,692,922</u>

当期減価償却費は、当年度予定額の6ヶ月/12ヶ月分7,974万3,500円を資産種別ごとに計上し、各減価償却累計額に合算している。また、一般会計負担金の上半期分の2,043万7,000円を未収金に、委託料契約額の上半期分459万4,500円と退手組合負担金の上半期分207万5,000円と9月分動力費197万4,701円を未払金に計上している。長期前受金は、当年度予定額の6ヶ月/12ヶ月分1,686万6,500円を長期前受金収益化累計額に合算している。

(5) キャッシュ・フロー計算書は次頁に掲載。

(6) たな卸資産購入限度額の執行状況 (単位：円)

購入限度額	執行額	購入限度額 残高	前年度繰越額	受 入		払 出	9月末残高
5,005,000	2,653,214	2,351,786	2,358,166	購入	2,456,680	2,983,252	2,360,484
				戻入	528,890		

払出額298万3,252円は、修繕工事に係る原材料費や量水器取替による修繕費、原水及び浄水費の薬品費などである。

(5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	金 額	区 分	金 額
業務活動によるキャッシュフロー		投資活動によるキャッシュフロー	
当期純利益	92,975,481	建設改良費	△6,915,551
非資金項目の調整		建設改良費にかかる収入	0
減価償却費	0	固定資産の売却	0
固定資産除却費	0	投資有価証券の取得	0
賞与引当金	△4,028,000	投資有価証券の償還収入	0
退職給付引当金	0	有価証券の受取利息	160,000
減損損失	0	有価証券の増減額	0
貸倒引当金	0	投資活動によるキャッシュフロー	△6,755,551
減損処理長期前受金戻入額	0		
長期前受金戻入額	0	財務活動によるキャッシュフロー	
退職給付引当金戻入額	0	企業債の発行	0
過年度損益修正益	0	企業債の償還	△65,052,946
業務活動による資産及び負債の増減		支払利息	△13,300,508
未収金の増減	△3,458,191	財務活動によるキャッシュフロー	△78,353,454
貸倒引当金の増減額	0		
貯蔵品の増減額	△2,318	資金に係る換算差額	0
前払金の増減額	△2,770,400	資金増加額又は減少額	10,214,906
未払金の増減額	△11,859,219	資金期首残高	455,323,156
前受金の増減額	0	資金期末残高	465,538,062
その他負債の増減額	13,688,601		
その他資産の増減額	△2,362,551		
業務活動以外の損益項目			
受取利息及び配当金	△3,000		
支払利息等	13,300,508		
有価証券の受取利息	△160,000		
小 計	95,320,911		
受取利息及び配当金受取額	3,000		
支払利息等支払額	0		
業務活動によるキャッシュフロー	95,323,911		

3 工事の執行状況

当期中に発注された建設改良工事の執行状況は次のとおりである。

工 事 名	工 事 内 容	契約金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 方 法	工 期
県道南浦築地線配 水管布設替工事	HI-VP φ 150 L=93.0m 仕切弁 φ 150 2基 排泥弁 φ 75 1基	2,462,400	(有)共立土木 堅山 繁樹	指名競 争入札	H30.4.16 ~H30.5.15
地下式消火栓移設 工事 共進地区	地下式消火栓 φ 75×75 N=1基	1,004,400	(有)廣憲建設 廣脇 憲幸	指名競 争入札	H30.7.13 ~H30.9.10
木ノ氏地区配水管 新設工事 (H30-1工区)	HI-VP φ 75 L=116.5m DIP-GX φ 75 L= 3.5m	2,266,380	(有)小山金物店 小山 和男	指名競 争入札	H30.9.7 ~H30.11.5
市道永田線配水管 布設替工事 (H30-1工区)	HI-VP φ 150 L=447.0m DIP-GX φ 150 L=3.0m 仕切弁 φ 150 1基 排水弁 φ 75 1基 空気弁 φ 75 1基	14,526,000	開成工業(有) 池本 晋一郎	指名競 争入札	H30.9.18 ~H30.12.26

このほか、手数料 84 件（設計審査手数料 80 件、新規指定店登録手数料 4 件）。工事請負契約書等については、関係法令に従って処理されており適切であることを認めた。

4 委託の執行状況

本年度において執行した委託業務は、次のとおりである。

補助単 独の別	委 託 事 業 名	契約金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 方 法	契 約 の 期 間
単独	大口地区修繕業務	2,160,000	大口水道修繕セ ンター	随意 契約	H30.4.1 ~H31.3.31
単独	菱刈地区修繕業務	939,600	菱刈水道修繕セ ンター	随意 契約	H30.4.1 ~H31.3.31
単独	水道施設監視ネットワ ーク・電気設備保守保安 管理業務	3,780,000	榊明興テクノス	随意 契約	H30.4.1 ~H31.3.31
単独	水道料金・会計システム 及び配管マップシステ ム保守管理業務	388,800	愛知時計電機(株) 鹿児島営業所	随意 契約	H30.4.1 ~H31.3.31

単独	大口水源地し尿浄化槽 清掃維持管理業務	23,652	(有)大口・伊佐清 掃社	随意 契約	H30.4.1 ~H31.3.31
単独	量水器検針事務	64円/件	個人4人とシル バー人材センター	随意 契約	H30.4.1 ~H31.3.31
単独	飲料水毎日検査業務	6,600円/日	濱本 悟	随意 契約	H30.4.1 ~H31.3.31
単独	飲料水質検査業務	5,712,120	(株)鹿児島環境測 定分析センター	指名競 争入札	H30.4.9 ~H31.3.31
単独	地方公営企業会計に係 る指導・助言業務	432,000	有限責任監査法 人トーマツ	随意 契約	H30.6.1 ~H31.3.31
単独	布計第1水源地非常用 発電機設置敷地地籍測 量図作成業務	253,800	(有)比江島土木技 術コンサルタント	随意 契約	H30.6.11 ~H30.8.9
単独	布計配水池清掃業務	1,134,000	ノダック(株)九州 事業所	随意 契約	H30.7.2 ~H30.9.28
単独	水道施設除草・点検作業 業務(大口地区)	393,120	大口管工事組合	随意 契約	H30.5.28 ~H31.3.31
単独	水道施設除草・点検作業 業務(菱刈地区)	393,120	伊佐市菱刈水道 設備会	随意 契約	H30.5.28 ~H31.3.31
単独	量水器取替・撤去業務 (大口地区)	規格ごとの取 替単価・撤去単 価による	大口管工事組合	随意 契約	H30.7.2 ~H31.3.31
単独	量水器取替・撤去業務 (菱刈地区)	規格ごとの取 替単価・撤去単 価による	伊佐市菱刈水道 設備会	随意 契約	H30.7.2 ~H31.3.31

5 業務の執行状況

(1) 給水の状況

(消費税込み)

月	給水戸数(戸)	給水量(m ³)	給水収益調定額(円)
4	10,058	159,135	26,924,848
5	10,031	157,705	26,638,608
6	10,058	156,368	26,503,720
7	10,069	163,872	27,772,853
8	10,061	169,444	28,728,754
9	10,042	172,240	29,111,605
計		978,764	165,680,388

(2) 用途別給水戸数 (平成 30 年 9 月分)

用 途	家庭用	営業用	官公署用	工場用	農業用	工事用	計
戸数 (戸)	9,268	547	146	24	45	12	10,042

(3) 口径別給水戸数 (平成 30 年 9 月分)

口径 (mm)	13	20	25	30	40	50	75
戸数 (戸)	9,361	432	99	41	80	18	11
口径 (mm)	100	計					
戸数 (戸)	0	10,042					

(4) 使用水量段階別給水戸数 (平成 30 年 9 月分)

使用水量 (m ³)	0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40
戸数 (戸)	1,186	1,749	1,564	1,370	1,362	1,749	601
使用水量 (m ³)	41～50	51～100	101～500	501～1000	1001 以上	計	
戸数 (戸)	205	166	80	5	5	10,042	

(5) 平成 30 年度上半期における水道料金の過年度分未収金は 1,507 件、352 万 5,705 円である。内訳は平成 25 年度分 48 件、4 万 3,617 円、平成 26 年度分 152 件、39 万 3,147 円、平成 27 年度分 288 件、74 万 8,446 円、平成 28 年度分 431 件、94 万 5,925 円、平成 29 年度分 588 件、139 万 4,570 円となっている。

6 現地監査

市道永田線配水管布設替工事における施工状況等について現地監査を実施した結果、良好に施工されていることを認めた。また、石井水源地、石井配水池、山野水源地、山野配水池の管理状況についても概ね良好に管理されていることを認めた。

7 その他

当課が整備保管すべき財務に関する諸帳簿類は、概ね良好に整備保管されていることを認めた。